

RENESAS TOOL NEWS 2004年09月16日: RSO-M3T-CC32R-040916D

M3T-CC32R ご使用上のお願い

M32Rファミリ用CコンパイラパッケージM3T-CC32Rの使用上の注意事項を連絡します。

• char型の2次元配列を初期化子で初期化する場合の注意事項

1. 該当製品

M3T-CC32R V.1.00 Release 1 \sim V.4.30 Release 00

2. 内容

char型の2次元配列を、文字列リテラルを含んだ特定の形式の初期化子を使って、 宣言と同時に初期 化した場合、コンパイラが次のエラーを発生します。

cg32r: "xxxx", line XX: internal error: illegal IL, size of initializer is larger than name size. (xxxx はファイル名が、XX には行番号がそれぞれ表示されます。)

2.1 発生条件

次の(1)~(4)の条件全てを満たす場合に発生します。

- (1) char型(ポインタ型除く)の2次元配列を初期化子付きで宣言している。
- (2) (1)の配列宣言に配列のサイズを書いていない。
- (3) (1)の初期化子には、文字列リテラル("...")を2つ以上記述している。
- (4) (3)のうち、最初の文字列リテラルを、{"..."} のように中括弧で囲んでいる。

2.2 発生例

3. 回避策

次のいずれかの方法で回避できます。

(1) 配列のサイズを明記する。

```
{"1234"},
     };
     array_func(array2);
   }
(2) 一つ目の文字列リテラルを囲んでいる中括弧をはずす。
   [sample1.c の回避例]
   char array1[][2] = {
      "ab",
           /* {"ab"}, から 中括弧 { } をはずす */
      "cd",
      "ef"
   };
   [sample2.c の回避例]
   extern void array_func(char [][6]);
   void func2(void)
   {
     char array2[][6] = {
       "5678", /* {"5678"}, から 中括弧 { } をはずす */
        {"1234"},
     };
     array_func(array2);
   }
```

4. 恒久対策

本問題は、次期バージョンで改修する予定です。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。 ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.